

金沢ミライシナリオ

「いつか、だれかが」から、「いま、わたしが」へ。

行政、市民、企業、学生、各分野の専門家など、
金沢の「いま」と「みらい」の当事者のアイデアを集めて、
『金沢ミライシナリオ』を作成しました。
家庭で、学校で、職場で、地域で、ひとりで、誰かとつながって、
いまあなたができることが、シナリオのなかで必ず見つかります。
金沢がポジティブに変化していくことを想像しながら、
誰もがしあわせを感じる未来を想像しながら、
あなたはどんな行動を起こしていきますか？
あなた自身のアイデアも、ぜひシナリオに書き加えてください。

《シナリオ1》自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる ～古くて新しくて心地よいまち～

目標	取り組むこと	実践アイデア
金沢らしい暮らし方、働き方、住まい方を知り、継承する。	金沢の自然・歴史・文化の成り立ちを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢らしさを学ぶ場をつくろう。参加するのもいいね。 ・学校教育などを通じて、金沢らしさに対する子供の関心を高めよう。 ・金沢の歴史や文化の語りべを増やそう。
	祭礼・風習・季節感を大切にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の和菓子を楽しんでみよう。 ・町会の祭礼に参加してみよう。 ・習い事をしよう。金沢の伝統や文化を知るきっかけになるよ。
	住んでいる地域に関心を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「いいもの探し・いいこと探し」をしてみよう。小学校と協力するといいかも。 ・地域の個性を掘り起こすイベントを企画してみよう。
	まちなかに住む。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかのライフスタイルを発信しよう。楽しそうと感じた人は、自分も体験してみよう。 ・まちなかの商店街や、地元のお店で買いものをしよう。 ・コンパクトで持続可能なまちに！公共交通が便利なエリアに住む人を増やそう。 ・町家を保全活用し、未来に残そう。 ・まちなかに魅力的な小学校をつくろう。
歩いてまちの魅力を感じる。	歩きたくなるしかけをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある建築物や庭園をつないで、気持ちよく歩ける空間をデザインしてみよう。 ・道路に、公園に、広場に。まちにとけこむ緑を育てよう。 ・道路が狭い？自動車の規制を増やすことを考えてみよう。 ・金沢ならではの用水のある風景を楽しもう。もちろん歩いてね。 ・歩行者や自転車優先の道路を増やそう。 ・まちなかの狭い道をつないで、おさんぽルートをつくってみよう。
	マイカーをひかえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・バスや電車を利用する日を増やそう。新しい発見があるかも。 ・歩くには遠いところへは自転車で。シェアサイクル「まちなり」も利用してみよう。 ・探検気分で、ふだん歩かない道も歩いてみよう。 ・カーシェアやレンタサイクルを使ってみよう。 ・週末、マイカーで遠出するかわりに、公共交通でまちなかのスポットをめぐるみよう。 ・健康づくりのために歩こう！
	乗りたくなる公共交通を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のマナーを守ろう。気持ちよくバスや電車を利用できるようになるよ。 ・誰もが心地よく使えるバス停や駅舎について考え、デザインしてみよう。 ・ために週1でバス通勤してみよう。そこから公共交通中心の生活に転換してみない？ ・バスと電車を乗り継いで、どこに行く？公共交通を使ったお出かけプランをつくろう！ ・使う人も、サービスを提供する人も、行政も。公共交通を地域の共有財産として活かす工夫をしよう。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 郊外とまちなかをスムーズにつなぐ公共交通のあり方を考えてみよう。 ・ 新しい交通サービス MaaS を取り入れよう。
自然と調和した、災害に強いまちをつくる。	住んでいる地域の自然災害リスクを知り、備える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難場所や避難のしかたを知っておこう。地域で防災知識を学び、防災活動を行おう。 ・ 過去に発生した災害について調べてみよう。埋もれた教訓を掘り起こそう。 ・ 土砂災害を防ぐために、斜面緑地や山林を適切に管理しよう。
	グリーンインフラをつくり、使う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ウチの庭」は地域のたから。大切につくり育てよう。 ・ 月極パーキングやコインパーキングを緑化しよう。 ・ 金沢の市街地を囲む斜面緑地や、神社を囲む鎮守の森は、多様な生物のいのちを育む場。大切に守り育てよう。 ・ まちに緑があると、いろいろないいことがあるよ。公園の役割を見直して再整備しよう。
	生物多様性と文化の関わりを学び、守る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性と文化の関わりを学ぶエコツアーを企画しよう。参加するのもいいね。 ・ 環境保全活動に取り組もう。金沢ならではの自然と文化のつながりを意識してみて。 ・ 豊かな食と自然を未来に残せる、持続可能な農林漁業を推進しよう。
いろんな世代がわくわくするコトと場をつくる。	まちなかと里山・田園地域の交流を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作る人と買う人が協力して、中山間地の農産物を売り買いする場をもうけてみよう。 ・ 小さな畑やコミュニティガーデンを増やそう。使ってもらいたい人と使いたい人をマッチングしよう。 ・ まちなかの小学校と、里山の小学校の交流を進めよう。 ・ 土づくりのこと、肥料のこと、収穫のこと…。農家に家庭菜園の先生になってもらえる制度をつくろう。 ・ 地域の農地を食育の舞台にしよう。
	まちなかで新しいコトを起こす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路空間を歩行者に開放して「週末まちなかマーケット」を開催しよう。 ・ まちなかでスポーツや音楽を楽しめる場と機会をつくろう。
	地域の個性を打ち出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの新陳代謝を上げる活動をしてみよう。地域の個性を生かしたりノベーションはどう？ ・ ふだんの暮らしに近い裏通りや商店街のカルチャーを育てよう。
	新しい場所をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今ある公園や広場をめいっぱい使おう。 ・ 河川敷に楽しい場所をつくってみよう。 ・ 河川や道路、公園の清掃活動に参加してみよう。 ・ まちなかにはいろんな公共空間があるよ。楽しい活用の仕方を考えてみよう。

《シナリオ 2》環境への負荷を少なくし資源循環型社会をつくる ～”もったいない”がないまち～

目標	取り組むこと	実践アイデア
あらゆる手段で、二酸化炭素の排出量を抑える。	みんなが参加しやすい省エネを進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいやオフィスの照明をLEDに変えよう。電気代も減るよ。 ・省エネ性能と創エネ設備を備えた「ゼロ・エネルギー」の建物を増やそう。 ・クールシェアやウォームシェアができる場所をつくろう。地域の人で楽しく利用できるといいね。 ・ゼロ・エネルギー・ハウスを建てたいんだけど…。相談できるハウスメーカーや工務店が分かる仕組みをつくろう！ ・家電の省エネ技術は年々進化しているよ。省エネ家電に買い替えよう。 ・一人ひとりの省エネが大きな効果に！家庭の省エネに取り組もう。 ・賃貸住宅も、断熱性能の高い物件を選ぼう。
	再生可能エネルギーの導入を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光・風力・太陽熱・地中熱・バイオマス・小水力などの再生可能エネルギーってどんなもの？ウチでも使えるの？知って、選べるようにしよう！ ・公共施設や防災拠点に、再生可能エネルギーの発電設備を導入しよう。 ・森林と地下水に恵まれた金沢。バイオマスや地中熱を活用しよう。 ・使用済み植物油を回収する仕組みをつくろう。バイオディーゼル燃料として再利用できるよ。 ・マンションの屋上に太陽光発電設備と蓄電池を設置しよう。
	人と環境にやさしい交通手段を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・マイカーのかわりにバスや電車を利用する日を増やそう。 ・道路を走る「のりもの」は、車だけじゃない。自転車、高齢者カート、キックボードのレーンを整備しよう。 ・まちなかに駐輪場やサイクルスタンドを増やそう。
環境負荷の少ない「つくる・運ぶ・売る・買う・使う・捨てる」にシフトする。	環境負荷の少ないものづくりをあたりまえにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全につながる資材調達の仕組みや製造工程を導入しよう。 ・環境負荷の少ないものづくりやサービスに取り組む企業を評価する仕組みをつくろう。 ・物流もスマートに！企業が共同で商品を管理し、運送する共同物流システムをつくろう。 ・廃材を家具に、古着をバッグに…。モノに新たな命を吹き込む「アップサイクル」を進めよう。 ・ISO認証は、環境に配慮した経営のあかし。取得し、運用しよう。
	地産地消とフェアトレードの両方に親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地場の野菜を選ぼう。地場の野菜を使っている飲食店を選ぶのもいいね。 ・「規格外品」を買おう。大きさが合わないだけで捨てられてしまうなんてもったいない！ ・学校給食で地場の野菜や魚をもっと使おう。 ・開発途上国の生産者を支援する「フェアトレード」について知ろう。地産地消とどこが同じで、どこが違うかな？ ・山と大地と海をつなぐ循環型の農林水産業を広げよう。金沢独自の認証制度があるといいね。 ・金沢の伝統野菜のタネを守る「シードバンク」をつくろう。 ・温暖化に対応した作物の品種の開発を進めよう。 ・流通しにくい規格外の野菜や果物。食べる人に届けるためのアイデアを出し合おう。 ・地元の生産者・流通業者・販売業者が出会い、つながる場をつくろう。 ・地域の小さな農家が連携して、野菜や果物をスーパーに安定供給できるしくみをつくろう。地産地消が進むよ。

地域の自然を活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材や伐採した竹、公園整備で出る枝や葉っぱは大切な資源。燃料や肥料などに加工する取り組みを促進しよう。 ・金沢産の木材を使った住宅を増やそう。
環境に配慮した消費行動をあたりまえにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ばら売りや量り売りがあるといいな」と、いつも行くスーパーに伝えてみよう。 ・公共スペースの給水機や、マイボトルに無料で給水してくれるお店など、まちに給水スポットを増やそう。ペットボトルを買わずにすむよ。 ・「エシカル消費」「グリーン・コンシューマー」って何？環境に配慮した、新しい買いものの視点を知ろう！ ・ペットボトルや食品トレイのデポジット制度をつくろう。空の容器を返却すると、容器代が返金される仕組みだよ。←
プラスチックを削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントでのプラスチック食器の使い捨てはもうやめ！食器を洗って繰り返し使う仕組みをつくろう。 ・雨が多い金沢。ビルや店舗に傘の脱水機を設置しよう。使い捨ての傘袋がいらなくなるよ。 ・包装資材や買い物袋を脱プラスチック！モデル商店街をつくってみよう。 ・ポイ捨てを許さない制度と雰囲気をつくろう。 ・化繊の衣服を洗濯すると、マイクロファイバーが川や海に流れ出ることも。天然素材の服を選ぼう。 ・レジャーや行楽など、出かけた際に出たごみは持ち帰ろう。
ごみの削減・資源化を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・過剰包装をやめよう。簡易包装を選ぼう。 ・事業者、市民、行政が、ごみの削減について情報交換する場を定期的に開催しよう。 ・お店や公民館と協力して、地域に資源回収ステーションを増やそう。 ・ダンボールコンポストや電気式生ごみ処理機を使うと、生ごみがたい肥になるよ。やってみよう！ ・あげたり、もらったり。地域でモノを循環させよう。
食品ロスを減らす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルや飲食店は食品ロスゼロに取り組もう。食べる人はおいしく食べ切って応援しよう。 ・流通に出せない食品を必要な人に届ける「フードバンク」。消費期限が短い生鮮品も扱える仕組みを考えよう。 ・宴会での食べ残しを減らす「3010運動」に取り組もう。乾杯後30分、おひらき前10分、席に座って料理を楽しむだけ！ ・食品は、必要なときに必要なぶんだけ買おう。 ・家庭で余っている食品を持ち寄り、まとめて福祉施設などに提供する「フードドライブ」の仕組みを普及させよう。 ・食べ物をムダにしたいくない飲食店と、お得に買いたい人とをつなぐフードシェアリングアプリを使ってみよう。

《シナリオ 3》次代を担う子供たちの可能性を引き出す環境をつくる ～子供がゆめを描けるまち～

目標	取り組むこと	実践アイデア
子供の多様性を尊重し、個性を伸ばす。	新しい知見を取り入れつつ、多様な教育を子供に提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブ・ラーニング」などの教育を通じて、子供の自主性を育てよう。 ・社会人になる前の学生が、職業や仕事について実践的に学ぶインターンシップの仕組みをつくろう。 ・遠い世界で起きていることと、身近な金沢で起きていることを関連づけ、考える学習を進めよう。 ・人間の根っこを育てる幼児期の学び。幼児教育・保育を充実させ、みんなに行き渡るようにしよう。 ・研究や調査を通じて得られる新しい教育の知見を、集めてシェアしよう。 ・金沢の多くの小中学校がユネスコスクールに認定されているよ。世界のユネスコスクールと交流しよう。 ・SDGs を、ユネスコスクールで推進している ESD（持続可能な開発のための教育）と結びつけて学ぼう。 ・国内外の交流校に参加してもらい、「金沢 SDGs 中学生会議」を開催しよう！
	地域と連携し、学校外での子供の学びと遊びを充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・親も学ばなきゃ！成長する子供に合わせて、親の学びと遊びも充実させよう。 ・学校・地域・家庭がつながって子供の成長を支えよう。そのために「コミュニティ・スクール」を実施しよう。 ・保育施設や児童館で子供の創造性を育む活動をしたい？ 地域で文化芸術活動を行っている人に協力してもらおう！ ・公民館や廃校を、いろんな「学びの場」として活用しよう。 ・選挙のこと、お金のこと、仕事や働き方のこと…。子供が社会の仕組みを楽しく学ぶ場をつくろう。 ・公共の図書館や学校の図書館で、放課後の学習支援を充実させよう。 ・全天候型プレイパーク×自然体験型宿泊施設を金沢につくろう！ ・放課後の子供の学びの機会や内容を広げよう。学習塾に英会話スクール、自然体験にプログラミングなど、興味があることを選んで学べるといいね。 ・金沢はお稽古ごとが盛んなまち。子供も地域の豊かな文化・伝統に親しもう。 ・フリースクールやオルタナティブスクールと、学校の連携を深めよう。
	子供の可能性を大らかに認め、個に寄り添った柔軟な教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢の強みを活かし、自然・アート・スポーツにふれる教育を充実させよう。 ・子供が自由に発想を広げ、ワクワクし、認め合える環境をつくろう。 ・いろんな子が同じ場で学ぶ「インクルーシブ教育」を充実させよう。 ・何も決まっていない、自由な「遊び」や「余白」の時間を増やそう。
	特別な支援を必要とする子供に、多様な選択肢を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育を、放課後支援もふくめて充実させよう。 ・障害のある子供が学び、働くための情報を市民が共有しよう。 ・児童発達支援センターをまんなかに関係組織が連携し、障害のある子供の支援体制をつくろう。 ・就学支援、就園奨励制度を充実させよう。
すべての子供が安心して暮らし、育つことができる環境をつくる。	困窮家庭にあっても、子供たちが安心して生活できるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設や、里親のもとで暮らす子供の生活を充実させよう。 ・子供の支援団体のネットワーク化を進め、貧困家庭への支援体制を強化しよう。 ・子供に寄り添い支える「子どもソーシャルワーカー」を増やそう。 ・「こども食堂」の運営を資金面で支援する企業を増やそう。

	<p>学校・家庭・地域で子供を見守り、子供に起きている深刻な問題を見逃さない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待や非行、貧困など、子供に関連する問題はたくさんある。見える化して、理解と見守りの輪を広げよう。 ・虐待の通報に対処することはもちろん、虐待が起きないための対策を強化しよう。 ・スピーディできめ細かな対応が求められている児童相談所。さまざまな分野の専門人材を配置しよう。 ・地域との結びつきが強い金沢の公民館。この特徴を生かして、企業、NPOなどと連携し、問題を抱える子供の受け入れ体制を整えよう。 ・家庭と、学校・保育施設、児童相談所、子育て支援団体の連携を進めよう。
	<p>親も子供も安心して笑顔で暮らせるまちをつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての喜びや困ったことを共有できる場をつくろう。地域にはもちろん、職場にも！ ・児童館や放課後児童クラブができることを増やそう。 ・友だちと遊んだり、静かに勉強したり。子供が自由に、安心して過ごせる居場所をつくろう。 ・家族みんなで、そして地域ぐるみで子育てをしよう。 ・子供が育つ環境を整えよう。そのために、官民が連携して親の支援を行おう。 ・働き方改革を進めよう。働く親が、子供の教育や地域活動に参加しやすくなるように！ ・親子でふれあう時間も、親が自分のために使う時間も、どちらも大事。そんな視点で子育て世帯をサポートしよう。 ・子供が安心して外で遊べる。親子で出かけやすい。そんなやさしいまちをつくろう。
	<p>子供に関わるあらゆるセクターの連携を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と、学校・保育施設、児童相談所、子育て支援団体の連携を進めよう。 ・金沢では小学校区ごとに地域福祉活動が行われているよ。この特徴を活かして、教育と地域福祉が連携して子供のいのちを守っていこう。
<p>学校に関わるすべての人の幸せを実現する。</p>	<p>みんなが学校について話し合い、学校に関わりを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校について、広くざっくばらんに話し合う場、専門的に議論を深める場をもとう。 ・金沢は学生が多いまち。大学生が教育現場や子供に関わる機会を増やそう。 ・部活動の指導に民間コーチを活用しよう。部活の活性化と、教員の負担削減につながるよ。 ・学校や先生のサポート役として。学校と地域をつなぐコーディネーターとして。民間の力を活用しよう。 ・SDGsって何だろう？子供のイメージがふくらむ映像を作成し、発信しよう。
	<p>各学校が独自の教育を行うための資源を確保し、学校の自由度を上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな先生に教えてほしい！NPOなど学外の人材を活用する仕組みをつくろう。 ・教育は未来への先行投資。教育環境の充実が地域の担い手の育成につながることを知ろう、伝えよう。 ・「教育ファンド」を立ち上げて、それぞれの学校が独自の教育を行う資金を確保しよう。
	<p>教員が成長し続けられる環境をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員のワークライフバランスを改善しよう。 ・教員は外部との接点を持ちながら、持続可能な社会を描くスキルを磨こう。 ・多様な人材を教員に採用しよう。 ・教員のメンタルケアを充実させよう。

《シナリオ 4》誰もが生涯にわたって学び活躍できる社会風土をつくる ～働きがいも、生きがいも得られるまち～

目標	取り組むこと	実践アイデア
多様な価値観や文化を大切に する。	あらゆる場面でジェンダー平等を徹底 する。	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の声も女性の声も、等しく大事。ものごとを決める際は、ジェンダーバランスに配慮しよう。 ・「これは男性の役割、これは女性の仕事」なんて決めつけない！ 地域活動や家事・育児・介護などのジェンダー不平等をなくそう。 ・女性の管理職を増やそう。
	LGBT フレンドリーなまちにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な性のあり方を理解する場や機会を増やそう。 ・同性カップルを婚姻に準ずる関係として証明する「同性パートナーシップ制度」について知ろう。
	外国の文化や生活を理解し、尊重す る。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国出身者と気軽に交流する機会をつくろう。きっと異文化に興味がわくよ。 ・外国出身者はどんなことに不便を感じているかな？ 見える化して、解決策を考えよう。 ・外国出身者にとって金沢のよい部分はどこかな？ 見える化して、教えてあげよう。
	障害者フレンドリーなまちにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな障害があることを知り、障害のある人が日頃どんなことに困っているか理解しよう。 ・みんなで話し合い、助け合おう。障害のあるなしに関係なく！ ・自分の生活や、地域や、職場を見渡してみよう。何が問題になっている？ 自分にできることはある？
	異なる価値観や文化を知り、対話す る。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会には多様な考え方、多様な家族のかたち、多様な人生、多様な性がある。自分と異なる価値観を知り、理解しよう。 ・ものごとを決めるときは、そんな多様な意見に耳を傾けよう。 ・「いまどきの若者」の意見を聞こう、取り入れよう。 ・子供が多文化共生について学ぶプログラムを実施しよう。 ・幅広い世代の人、多様な人が交流する場をつくろう。「こども食堂」をそんな場にしてみよう。
誰もが自信と生きがいをもっ て生活できるようにする。	さまざまなコミュニティに関わりをも つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動やイベントに参加しよう。 ・自分の関心のある課題に取り組む NPO や、自分のスキルを活かせそうなプロボノに参加してみよう。 ・仕事中心になりがち？ 会社以外の居場所や仲間も大切にしよう。
	自分の人生に自信をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が好きなこと、得意なことを発見しよう。他の人と交流すると、自分らしさが見えてくるよ。 ・人生をより豊かに生きるための考え方にふれてみよう。「ライフシフト」や「タイムマネジメント」を学んでみては？ ・誰もが好きなこと、やりたいことに熱中できる環境をつくろう。 ・地域のニーズと、地域貢献したい人のスキルをマッチングする仕組みをつくろう。 ・クレーム社会は NO！ けなし合うのはやめて、認め合おう。
誰もが学びたい時に学べる場 を用意する。	芸術やスポーツが身近なまちにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・地元のプロスポーツチームを応援しよう。 ・地元で行われる展覧会や音楽会に気軽に出かけてみよう。 ・芸術やスポーツに取り組んでみよう。

	<p>多世代がいつでもどこでも学べる環境をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を市民の憩いの場にしよう。最新の設備に、読書スペース、対話スペースがあればいいな。 ・働きだしてからでも、必要なときにいつでも何度でも学び直せる「リカレント教育」の仕組みを充実させよう。 ・大人も学びたい！大学の社会人教育を充実させよう。 ・職人大学校、ボランティア大学校、高砂大学校、公民館主催の講座など、金沢には学びの場がたくさんあるよ。情報をまとめて発信しよう。 ・企業は社員の学びをサポートしよう。 ・自分の成長や楽しみのために学び続けたい！そんな市民の思いに応えるeラーニング環境を整備しよう。
	<p>まち全体を学びの場とし、市民が相互に教え、学びあう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館は地域住民にとって最も身近な学習拠点。新しい活用の仕方を考えてみよう。 ・公民館や廃校を、いろんな「学びの場」として活用しよう。 ・市民が相互に学び合える場をつくろう。「IMAGINE KANAZAWA 大学」なんてどう？
<p>一人ひとりが、いつでも、何んでもチャレンジできる環境をつくる。</p>	<p>働きたい意欲のある“ヒト”に合わせた就労を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職場はもちろん、通勤のための移動環境もバリアフリーにしよう。 ・妊娠、出産、病気などで離職した人が、再就職しやすい環境をつくろう。 ・障害のある人も、雇用する企業も、「ジョブコーチ」による就業支援を活用しよう。 ・カウンセリングやリハビリを充実させて、就労前後をサポートしよう。
	<p>誰でも、いつでも、どこでも働くことのできる環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「リモートワーク」などの柔軟な働き方を社会全体で推進しよう。 ・wi-fi環境が整った場所や、コワーキングスペースを増やそう。
	<p>いろいろな働き方や休み方ができる風土と環境をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会社や組織に属さない個人事業主は社会的信用度が低い？「そんなことない！」といえる風土をつくろう。 ・一定期間仕事から離れる「サバティカル休暇」や働きながら海外で生活する「ワーキングホリデー」などの制度を浸透させよう。あらたな発想や知見がえられるよ。 ・社員の多様な働き方を支援する企業や、ユニークな働き方をしている人の情報を発信しよう。 ・企業間の「交換留職」を行ってみよう。社員も企業も視野が広がるよ。 ・さまざまな社員が多様な働き方ができる制度を整えよう。 ・24時間営業は必要？お店も、そこで働く人も、きちんと休める環境をつくろう。

《シナリオ 5》文化や産業に革新的イノベーションが起きる仕組みをつくる ～新しいもの、ことを生み出すまち～

目標	取り組むこと	実践アイデア
イノベーションが起きやすい条件と要素を集める。	金沢の強みである文化を知って、磨く。	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢では年間を通じてさまざまな文化的な催しが行われているよ。気軽に参加してみよう。 ・生活文化、工芸、茶道、建築、景観、自然など、先人から受け継いできた金沢の大切な財産について理解を深めよう。 ・金沢の文化資源の情報を集めて、いろんなかたちで発信しよう。
	市民がテクノロジーを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・AI やロボットなどの進化は、暮らしにさまざまな影響を及ぼすよ。テクノロジーについて学ぼう。 ・金沢市が提供するオープンデータを活用して、市民の手で新しい公共サービスを作り出そう。 ・行政の持つ情報を公開し、市民が参加して協働でまちづくりに取り組む「オープンガバメント」を進めよう。
	感性豊かな人を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の豊かな自然にふれよう。 ・おしゃれして出かけてみよう。 ・金沢ゆかりの哲学者である鈴木大拙、西田幾多郎の思想にふれてみよう。 ・五感を育む教育プログラムを開発しよう。
	お金の循環をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・経済性と社会性の両立をめざす企業や事業を、長期投資を通じて腰を据えて応援する機運を高めよう。 ・新しいビジネスを育てるには資金が必要。アイデアと情熱を持つ人が投資を受けやすくなる環境や組織をつくろう。 ・新しい技術やサービスで急成長をめざす企業への支援を強化しよう。 ・自分の活動や夢を発信し、共感してくれた人から資金を募る「クラウドファンディング」の文化を浸透させよう。
	挑戦を応援し、失敗からの学びを尊重する風土をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に起業家を派遣したり、学生向けの起業家育成プログラムを実施したり、起業家教育を充実させよう。 ・自ら起業したり、社内で新しい事業を立ち上げたり。新しいことにチャレンジする姿勢を尊重しよう。
多くの起業家やベンチャー企業が生まれ、連携してイノベーションを起こす仕組みをつくる。	多様な人や企業が交わる場所をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「IT ビジネスプラザ武蔵」「価値創造拠点」を活用し、人や、ビジネスや、技術と交流しよう。 ・公共空間を、市民が集まりやすい、魅力的な場所にしよう。 ・マイカーがなくても行ける「場所」にしよう。いろんな人が参加できて、交流も深まるよ。
	多様な人の出会いを促進させる機会をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・人をつなぎ、場をつくる役割を担うコーディネーター人材を発掘、育成しよう。 ・市民が先生になって、金沢の生活文化について講義する場をつくろう。 ・金沢に住む人と金沢を訪れた人が交流できるイベントを開こう。 ・他の会社の業務や、未経験の仕事を体験する「大人のインターンシップ」を促進しよう。 ・地域のコミュニティ活動に積極的に参加してみよう。
	SDGs を取り入れる企業を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs の問題解決の考え方を学び、イノベーションのチャンスをつかもう！ ・他社と共同開発を行ったり。ビジネススクールに参加したり。SDGs 達成のカギになる発想力を養おう。
	クリエイターやアーティストが気軽に出入りし、滞在できる環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢にクリエイターやアーティストが滞在しやすい施設や仕組みを用意しよう。 ・短期利用できるレンタルオフィス、コワーキングスペースをつくろう。
	世界と直接つながる。	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢で世界規模の工芸見本市を開催しよう。

	<ul style="list-style-type: none">・金沢が中心になり、世界に「KOGEI」を発信しよう。・世界的な著名人を招き、世界で通用する考え方やルールについて学ぼう。
創造的なものづくりに取り組む「作り手」に敬意を払う。	<ul style="list-style-type: none">・職人、芸術家、エンジニアなどの「作り手」の仕事に正当な対価を払おう。・「作り手」が自分の力で事業継続できるよう支援しよう。

《方向性1～5をすすめるパートナーシップ》

目標	取り組むこと	実践アイデア
多様な人が『金沢ミライシナリオ』に参画する。	金沢SDGsについて気軽に学べる環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会、出前講座、イベントなど、SDGsについて学ぶ場をさまざまなかたちで設けよう。 子供へのSDGs教育を進めよう。 SDGsのまちづくりに関するデータや情報をオープンにしよう。 SDGsの目標と達成状況について、わかりやすく発信しよう。 回覧板、SNS、新聞やテレビなどのメディア、会合など。いろいろな手段を組み合わせで情報を発信しよう。 伝わることばとデザインで、SDGsの情報を発信しよう。
	市民や企業が『金沢ミライシナリオ』に参画する。	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ、企業、団体、行政組織等の取り組みをシェアし、つながる機会をつくろう。 実践アイデアに、市民や企業の声を反映しよう。 市民や企業の取り組みを情報発信しよう。
連携による協働で目標を達成する。	多様な人・組織のアイデアやネットワークを活かす。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の既存組織のネットワークを活用しよう。 教育現場や生徒・学生と連携した取り組みを推進し、アイデアを実行しよう。 大学を超えて学生がつながり、活動するユースチームを結成しよう。
	SDGsのアクションを起こす基盤をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに関して誰がどんな取り組みをしていて、達成状況はどうなっているのか、見える化して発信しよう。 環境負荷軽減など、市民一人ひとりが取り組めるテーマについてディスカッションできる場をつくろう。 ある地区の協働の取り組みを、他の地区でも展開できる仕組みをつくろう。 市民や学生のアイデアをプロジェクト化していこう。
	さまざまな組織がパートナーシップを組み、強みを出し合って課題解決を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 行政の部署横断のプロジェクトを拡充し、市民参画や官民協働を意識した取り組みを進めよう。 大学間連携、事業者間連携など、目的や分野が近い組織との協力関係を構築しよう。 行政と市民の協働で、地域の課題解決につながるパイロット事業を立ち上げよう。